

垣根越えて事業承継を支援



事業承継に向けた支援などの活動報告をした連携会議＝多治見市
虎溪山町、とうしん学びの丘エール

東濃信金、商議所や商工会と連携会議

地域の社会課題となっ
ている事業承継について、東
濃信用金庫(多治見市)は、
昨年度から東濃や可茂地域
などの商工会議所、商工会
と垣根を越えた連携支援体
制を構築し、具体的な事業
承継や引き継ぎ支援などに
取り組んでいる。多治見市
虎溪山町のとうしん学びの
丘エールで、昨年度の活動
総括などを報告する連携会
議が行われ、関係者が事業
承継に向けた支援のノウハ
ウを共有した。

同金庫は、事業承継の支
援体制を強化するために、
東濃、可茂、各務原市の8
商工会議所、9商工会と包
括連携協定を結んでいる。
連携会議には、各商工会議
所、商工会のほか同金庫の

支店長ら約70人が参加し
た。とうしん地域活力研究
所が昨年度の取り組みとし
て、48件の事業所に対して
個別支援や相談を行ったこ
とを報告した。そのうち半
数の事業所が承継先とし
て、合併・買収(M&A)
を希望しているという数字
も示された。

後継者不在のため、黒字
経営でも廃業する事業所が
ある実態を踏まえ、事業を
引き継ぎ創業する「アツ
ギ創業」の支援も行う。事
業を引き継ぐ側のメリット
として、固定客が確保でき
一定の売り上げが見込める
こと、事業に必要な設備が

整っていることなどを挙げ
た。竹下浩司所長は「この
1年の活動で事業承継の支
援の必要性を感じている。
ありとあらゆる手を使わな

いと、事業承継という社会
課題は解決できない」と話
した。瑞浪商工会議所など
による事例発表もあった。
(小森孝美)